

## アメリカのイラン攻撃に抗議します



3月5日、松江テルサ前でアメリカ・イスラエルのイラン先制攻撃に対する抗議集会が開催されました。緊急な呼びかけにもかかわらず、26名が参加し、抗議のアピールを行いました。



### しまね自治研 地域自治講座開催 「地域と共生する再エネ事業のポイント」



2月27日、しまね地域自治研究所が北海道学院大学教授の上園昌武教授を講師に地域自治講座を開催しました。上園氏は「住民合意のない大規模な再エネ事業ではなく、エネルギーの地産地消をめざすことが大事」と話されました。

### プルサーマル発電 NO！

原発ゼロをめざす島根の会が、浜岡原発の耐震データねつ造と島根原発2号機のプルサーマル発電に関して島根県と松江市に申し入れを行いました。



### 島根革新懇講演会のお知らせ

日時 5月17日(日) 13:30～  
会場 島根県民会館303号室  
演題 社会保障 今大事なこと(仮)  
講師 唐鎌 直義さん

(佐久大学特任教授、元立命館大学教授)



## 被災 72 周年 ビキニデー

2月28日～3月1日、静岡市と焼津市を会場にビキニデー集会被催されました。海外代表も含め1700人が参加しました。島根県からは現地に1名、オンラインで4名が参加しました。大国が核抑止力強化に舵を切った中、核兵器が人類にとって脅威であることを改めて感じる集会でした。(島根県原水協 徳永)



## 貧困問題を自分ごととして —松江生健会・総会に参加して—

松江生活と健康を守る会の第55回定期総会が3月1日に開催されました。片寄ひで子事務局長からの報告は「松江市の社会保障をめぐる状況」として「松江市の生活保護状況」から始まり、そのあとの活動報告でも、活動方針(案)でも、生活保護をはじめ生活困窮者の問題を自分ごととして活動されていることがよくわかりました。

質疑のときに、私は島根革新懇で話題になった「子ども食堂」の現状を聞きました。松江には子ども食堂が何カ所もあってスポット的に食事を格安で提供していて、地域の人たちのつながりの場になっている。しかし、物価高騰で維持が難しくなっているという説明がありました。

生活と健康を守る会は反貧困運動の砦ではないかと思います。何かお役に立てることがないかと思いつつ会場をあとにしました。(堀木 義信)

## 原発事故をなかったことにしない！

3月14日、70名の参加で、福島を忘れない島根の集いが開催されました。



講演は原発事故後の子どもの甲状腺がん裁判の弁護団長の井戸謙一弁護士から報告がありました。放射線の影響を認めない国と東京電力の姿勢や発症したことで周囲の住民からバッシングされる状況で裁判も匿名で行っていることが報告されました。意見陳述の音声で紹介されましたが、『高校2年の時甲状腺がんが見つかった。1回目の検査ではがんはなかったのに医者は原発事故とは関係ないと嘘をつかれた。3回手術を受けたが、精神症状に苦しめられ、「震災PTSD」と診断された。国や東京電力に対する怒りと悔しさでいっぱいです』と発言されており、あらためて原発事故の影響の深さを感じました。

